

2027年国際園芸博覧会 基本計画・概要版

花や緑との関わりを通じ、自然と共生した持続可能で幸福感が深まる社会の創造を提案、
横浜から明日に向けた友好と平和のメッセージを発信します。

開催趣旨・意義

国際園芸博覧会の趣旨

国際的な園芸・造園の振興や花と緑のあふれる暮らし、
地域・経済の創造や社会的な課題解決等への貢献

時代認識

地球環境の課題：地球温暖化、生物多様性の損失、自然災害、感染症、食料危機等

SDGsの達成に貢献し、その先の社会も見据えた日本モデルの提示
—実現に向けた取組の方向性—

Society5.0の展開

グリーンインフラの
実装

花き園芸文化の振興等を
通じた農業・農村の活性化

観光立国や
地方創生の推進

日本・横浜発の「グリーンシティ」の発信提示

都市生活が自然とともにある未来を市民・民間企業・行政が共に考え、行動を起こし、
アイデアを形にする取組を展開することにより、先導的な「グリーンシティ」を提示

花き園芸・造園・農の振興

花き園芸・造園・農
の発展に向けた
取組の加速化

日本の花き園芸
文化・造園文化の
再評価と発信

伝統的な
花き園芸・造園技術
の保全・継承

遺産資源の保全

開催理念・テーマ

花や緑、農、食は、我々の命を支え、暮らしを支え、また、世代、民族を超えて人々に感動や笑顔をもたらしている。我々人類は、植物をはじめとした自然に生かされており、生命の潮流と循環の中で生きている。世界が経済的な豊かさを主体とした対比的な充足から、質的成熟社会への転換期にある中で、2027年に開催される本博覧会は、改めて植物の自然資本財としての多様な価値を再認識し、持続可能な未来と誰もが取り残されない社会の形成に活用するとともに、自然との共生や時間・空間を含めたシェアがもたらす幸福感を、新たな明日の風景として可視化していくことを目指すものである。

テーマ **幸せを創る明日の風景**
～Scenery of the Future for Happiness～

サブテーマ
テーマ実現の切り口

自然との調和

緑や農による共存

新産業の創出

連携による解決

全体概要

名称 : 2027年国際園芸博覧会
(International Horticultural Expo 2027, Yokohama, Japan)
博覧会種別 : A1(最上位)クラス (AIPH承認+ BIE認定)
開催場所 : 旧上瀬谷通信施設(神奈川県横浜市)
開催期間 : 2027年3月19日(金曜日)～9月26日(日曜日)
博覧会区域 : 約100ha(内、会場区域80ha)
参加者数 : 1,500万人(地域連携やICT活用などの多様な参加形態を含む)
(有料来場者数 1,000万人以上)



<資金計画>

会場建設費 320億円
(財源：国、地方公共団体、民間による負担)
運営費 360億円
(財源：入場料、営業権利金等)

横浜市・旧上瀬谷通信施設について

横浜市は、1859年に国際港として開港以降、園芸植物の玄関口となり、ユリを代表として数々の植物が海外へ輸出されるとともに、バラやチューリップなどの西洋の花の輸入の先駆けとなるなど、日本の花き貿易の先進地となり、我が国の優れた植物や園芸文化を発信し続けてきました。

会場は横浜市の郊外部(旭区・瀬谷区)に位置する旧上瀬谷通信施設であり、2015年に米軍から返還された約242haの広大な土地で、そのうち約100haが博覧会区域となります。長年にわたり土地利用が制限されてきたことから、農地や緩やかな起伏の草地など豊かな自然環境が広がり、南北に流れる相沢川、和泉川の源流部、谷戸地形等の貴重な自然資本が残っています。

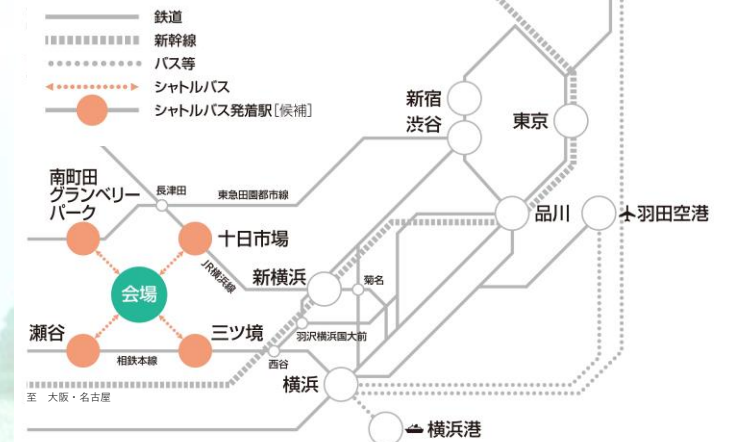


輸送アクセス

- ・周辺各駅からのシャトルバスによる輸送
- ・空港や主要ターミナル発着場からの直行バス
- ・会場外駐車場を確保「パーク&ライド」



会場までのアクセス



スケジュール

2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028
			・BIE認定、基本計画策定		・チケットプロモーション	
			・参加国招請開始	・会場整備着工		・開会

幸福感につながる人と植物のこれからの関わり方を示し、自然共生社会の実現に向けた新たな暮らしのモデルを提案します。

多様な主体が創りあげる圧倒的な花と緑

主催者庭園

主催者による国際園芸博覧会のシンボルとなるガーデン。季節ごとに咲き誇る花の変化が楽しめる。横浜の歴史・文化も演出

屋外出展

公式参加者（国や国際機関）や一般参加者が出展する庭園等。世界各国の多様な花き・園芸、造園技術や地域ごとの特色ある出展を体感

屋内出展

生産品や屋内庭園、フラワーアレンジメント、生け花、盆栽等の展示

日本国政府出展

日本が誇る文化や伝統とともに、今後の花と緑、農の在り方のほか、最先端の造園・緑化技術や農業技術等を世界に発信

多くの人々を惹きつける圧倒的で魅力的な空間を創出

主催者によるシンボル展示

来場者が“自分にとっての自然とのつながり方”を発見する展示体験を創出。バイオフィリア*の考えのもと、リアルとデジタルの融合で、主として日本の植物資源の展示を展開する。

※人間が自然と交わりたいと望む本能的な欲求

技術の向上、産業の発展を促すコンペティション

- ・ 庭園及び花き等のコンペティションに加え、本博覧会独自企画のコンペティションを実施
- ・ 需要拡大・輸出拡大等による我が国の花き園芸・造園産業の発展を目指すとともに、多様な産業界が連携する枠組等も検討



自然環境を生かした会場

- ・ 自然環境ポテンシャルを取り入れた会場
- ・ あらゆる主体がつながり、将来につながる会場
- ・ 誰もが使いやすい会場

これからの時代にふさわしい会場運営

- ・ 持続可能性に配慮した運営
- ・ 安全・快適の達成と感染症対策の徹底
- ・ ユニバーサルサービスの提供
- ・ ICTの積極活用



2023年1月現在 会場イメージ 今後の調整状況により変更になる可能性がある。

産学官・市民の連携

Village

博覧会協会が設定するテーマに応じ、民間企業、教育・研究機関、市民等が共創してコンテンツを提供



Farm to Table STREET

気軽に旅をするように、世界中の風景・食・文化、人とのふれあいを五感で楽しむ食体験事業



Park Pavilion

本博覧会の趣旨に賛同する企業のビジョンを特徴ある魅力を備えた庭園とともに表現、新しい風景づくりを企業と実施

コモンズを中心に展開する多彩な行催事

催事施設で行う開会式・閉会式・ナショナルデー・スペシャルデーをはじめ、会場内に複数配置した参加型交流拠点「コモンズ」における主催者や企業・自治体・市民団体等の多様な主体の催事により、参加者に楽しさや驚き、感動を与え、本博覧会のテーマを効果的に発信



グリーンインフラの実装

緑陰や風の道の形成、園路広場における礫間貯留、蒸散作用、豊かな緑量の確保と緑のネットワークを形成



参加と連携を促すコミュニケーション活動

開催前から、企業・団体・行政機関・市民等との連携を推進するコミュニケーション活動、SDGsの行動促進を目的とした教育活動等を展開

本博覧会のテーマ、活動の継承

会場の一部は公園として整備され、本博覧会の理念・テーマ等を継承・発展・発信する拠点となる。『「みどり」で広がる暮らしの風景』をテーマに、多様な主体（利用者）の参画と連携により、自然と人をつなげ自然とともに生きる持続可能で多様なライフスタイルを醸成



2027年国際園芸博覧会 神奈川県出展基本構想の概要

環境農政局 農水産部
農業振興課

1 出展基本構想の概要

メインテーマ “Vibrant INOCHI”

一人ひとりの「いのち」が輝く、持続可能な健康長寿社会の実現に向けた取組
病気のない社会はつくれないが、100歳になっても笑い合える究極の姿を目指す



1 出展基本構想の概要

<出展基本構想（案）>

- 第1章 背景
- 第2章 出展の意義、理念及びテーマ
- 第3章 空間構成と施設配置の基本方針
- 第4章 展示に係る基本方針
- 第5章 管理運営に係る基本方針
- 第6章 行催事に係る基本方針
- 第7章 広報及び参画に係る基本方針、レガシーの方向性
- 第8章 今後のスケジュール

令和6年10月
に策定

※農水省・国交省「2027年国際園芸博覧会政府出展基本計画」に依拠

2 出展のサブテーマ (第2章)

➤ 県施策のPR



ともに生きる社会
かながわ憲章
KANAGAWA CHARTER for an Inclusive Society



SDGs 未来都市
SDGs FutureCity



(1) 共生社会の実現

農福連携／ともに生きる社会かながわ憲章の理念普及 など

(2) 持続可能な社会

脱炭素／スマート農業／循環型社会の実現／生物多様性 など

(3) ME-BYO

未病改善／食育 など



県の施策を世界へ発信！

3 出展構成 (第3章)

(1) 花・緑出展 (約5,000㎡) ※建物 (約500㎡) 含む

- 屋外展示・屋内展示
- 多様な形の花と緑のあふれる暮らしを提案
- それを支える本県の園芸農業を振興



(2) ステージ出展

- ステージを活用したパフォーマンスにより、“Vibrant INOCHI”を分かりやすく発信



4 展示に係る基本方針 (第4章)

- 県産木材を始め、県産資材の優先利用
- スイートピーやサルスベリなど本県育成品種の展示
- 可能な限り天然素材を利用した環境に優しい展示 など



県産木材を使用した室内



スイートピー
"スプラッシュシリーズ"



サルスベリ
ディアシリーズ



もみ殻や段ボールを使ったポット

5 管理、催事、広報等の基本方針（第5～7章）

➤ みんなで創る共創・参加型万博

～みんなで盛り上げ、みんなで創り、みんなが参加～



- オール神奈川で機運醸成に取り組んだ成果を出展につなげる
- 多くの県民を県出展ボランティアとして募集し受け入れる など



参加体験をレガシーにつなげる！

2024年3月19日

公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会

GREEN×EXPO 2027（2027年国際園芸博覧会） 「花・緑出展」「Village出展」に関する公募要領を公表

公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会（会長：十倉雅和）は、GREEN×EXPO 2027（2027年国際園芸博覧会）における参加メニューのうち、「花・緑出展」「Village出展」に関する公募要領を3月19日(火)に当協会のウェブサイトにて公表しました。「花・緑出展」は3月26日(火)、「Village出展」は5月31日(金)よりそれぞれ応募受付を開始する予定です。

●公募要領を公表した参加メニュー

- ・花・緑出展（企業・団体・個人）
- ・花・緑出展（自治体）

花・緑出展は、庭園作品や生産品の展示、コンペティションへの参加により、技術や魅力を世界へ発信いただける出展方法です。屋外出展と屋内出展があります。



▲屋外出展イメージ



▲屋内出展イメージ

・Village出展

Village出展は、GREENの力と産業活動が融合した姿を示し、テーマ「幸せを創る明日の風景」を感じさせる屋外空間（庭園、広場等）・展示施設を整備、独自の体験やコンテンツを提供いただく出展方法です。



●今後の公募スケジュール（予定）

	花・緑出展 （企業・団体・個人）	花・緑出展(自治体)	Village出展
質問受付期間	3月19日(火)から応募受付締切の日の一週間前まで	3月19日(火)から7月19日(金)まで	3月19日(火)から応募受付締切の日の一週間前まで
応募受付期間	3月26日(火)から7月まで	3月26日(火)から7月31日(水)まで	5月31日(金)から7月まで

※花・緑出展(企業・団体・個人)、Village出展の応募受付締切日については、今後お知らせします。

●公募要領は、国際園芸博覧会公式ウェブサイトからご覧ください。

GREEN × EXPO 2027に参加する (<https://expo2027yokohama.or.jp/sponsorship/>)



次頁あり

●「共創フォーラム@東京」の開催

公募要領の公表と同日である3月19日(火)に「GREEN×EXPO 2027 共創フォーラム@東京」をイイノホールにて開催しました。本イベントには約500名の方にご参加いただき、「出展」のうち特に「Village出展」について、協会から企業の皆様に参画を呼びかけました。

GREEN×EXPO ラボの涌井 史郎チェアパーソンと公式アンバサダーの芦田 愛菜さんによる共創トークでは、気候変動や生物多様性の損失といった地球規模の課題を考えながら、GREEN×EXPO 2027の趣旨やテーマを共有しました。

また、横浜市庁舎でも横浜市主催の共創フォーラムを開催し、100名を超える横浜市内の企業・団体の皆様にお集まりいただき、本イベントの同時中継及び出展等の説明を行い、参画を呼びかけました。

◇開催概要

日時：3月19日(火) 15:10~16:40

会場：イイノホール&カンファレンスセンター(千代田区内幸町) ※横浜会場とも一部ライブ中継

◇当日プログラム

主催者挨拶	十倉 雅和 (公社)2027年国際園芸博覧会協会 会長/(一社)日本経済団体連合会 会長
関係機関挨拶	齊藤鉄夫 国土交通大臣、舞立昇治 農林水産大臣政務官、上月良祐 経済産業副大臣、 山中竹春 横浜市長、黒岩祐治 神奈川県知事
共創トーク	涌井 史郎さん GREEN×EXPOラボ チェアパーソン 芦田 愛菜さん 公式アンバサダー
出展の公募に関する説明	(公社)2027年国際園芸博覧会協会 事務局
閉会挨拶	河村 正人 (公社)2027年国際園芸博覧会協会 事務総長

2027年国際園芸博覧会について

大阪花の万博以来37年ぶりに国内で開催されるA1クラスの国際園芸博覧会「GREEN×EXPO 2027」自然・人・社会が共に持続するための最適解、「幸せを創る明日の風景」を神奈川・横浜から描きます

【開催概要】

名称	2027年国際園芸博覧会 (International Horticultural Expo 2027, Yokohama, Japan)
正式略称	GREEN×EXPO 2027 (グリーンエクスポニーゼロニーナ)
開催場所	神奈川県横浜市
開催期間	2027年3月19日(金)~2027年9月26日(日)
博覧会区域	約100ha(内、会場区域80ha)
クラス	A1(最上位)クラス(AIPH承認+BIE認定)
参加者数	1500万人 ・地域連携やICT(情報通信技術)活用などの多様な参加形態を含む ・有料来場者数:1,000万人以上
公式サイト	https://expo2027yokohama.or.jp/

【テーマ】

幸せを創る明日の風景 ~Scenery of the Future for Happiness~



本件に関するお問合せ先

公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会

①本リリース内容について	調整課(担当:古木)	Tel: 045-307-2068
②花・緑出展(企業・団体・個人)について	展示課(担当:丸山)	Tel: 045-307-2057
③花・緑出展(自治体)について	展示課(担当:加藤)	Tel: 045-307-2057
④Village出展について	事業企画課(担当:中村)	Tel: 045-307-2049